

コロナ禍の今、できることを前向きに！

全国的に新規感染者数が減少し、医療提供体制も改善傾向にあることを踏まえ、京都府全域に9月末まで延長要請されていた「緊急事態宣言」がようやく全面解除されました。解除されたとはいえ、感染者や入院患者が0になった訳ではなく、いつ感染拡大が再び起こるかわからないため、基本的な感染予防対策は継続して実施していかなければなりません。さて、2学期が始まって約1ヶ月が過ぎ、制限や自粛が求められる学校生活にストレスを感じ、学校行事も変更や中止せざるを得ない状況に、悔しさや悲しさを感じた人も多いと思います。9月13日に今年度の「体育大会」と「合唱コンクール」の中止を全校放送でおこなった後、それぞれの学級で担任の先生が思いを伝え、生徒の皆さんの素直な気持ちを聞き、学級通信などで共有してくれました。あるクラスの学級通信に掲載された感想の一部をいくつか紹介します。

「今は大きな事ができないけれど、小さな事でもみんなでやりたい！一番大切なのは命だと思った。」

「ある程度予想はしていたからこそ驚きませんでした。コンサートホールで学校祭文化の部をするのはめったにないことだと思うし、特別感があって、今までよりも楽しめそうです。」

「すごく悔しいです。とにかく今はみんなでできることを頑張っていきたいと思います。」

「中止という言葉にまどわされたらあかんし、まだ楽しめるし、普段の授業と休み時間と休憩と、登下校がめっちゃ濃いものになるように楽しもうと思いました。」

「中止になるのは悲しいし、悔しいけれど、それに代わり何かすることになったら、全力で卒業まで燃え尽きるぐらい頑張っていこうと思った。」

他にも、皆さんが今思うことがたくさんあると思います。先生達もコロナ禍の中で何ができるか、また、コロナ禍だからできることは何かを何度も相談しながら、授業や学校行事を含めた教育活動をすすめています。生徒の皆さんの感想を読んだり、皆さんからの声を聞くと、大変心強く感じます。前向きに、今できることに全力で取り組んでいきましょう。

【東京パラリンピックに学ぶ】

13日間に及んだ『東京2020パラリンピック』では、大会に出場された選手の方々の活躍は、多くの人の心を動かしたのではないのでしょうか。各国の様々な障がいを持った選手たちのこれまでが、競技の様子とともにドキュメンタリーとして紹介され、見る者に感動を与えてくれました。その中で、共通することは「できないことが多く、落胆するのではなく、自分が持っている（できる）能力を、最大限生かしてみる。」という考え方に切り替えることで人生が変わったことです。パラリンピックは、多様性を尊重し合う共生社会の意義を私たちに訴えかけています。様々な「個性」を認め合うこと、いろいろな「価値観」を知り受け止めること、そして異なる個性と価値観を持つ人々が一緒に過ごす「共生社会」を目指すことが必要だと思います。学校生活においても、お互いの個性を認め合い、支え合う人間関係を築いてほしいと願っています。



「失われたものを数えるな 残されたものを最大限に生かせ」

これは、パラリンピックの父と呼ばれる医師ルートヴィヒ・グットマン博士の言葉です。博士は、障がい者の治療にスポーツを積極的に取り入れ、身体機能の強化と回復で高い効果を上げられたそうです。たくさんの方がこの言葉に力をもらい、社会復帰され、また、パラリンピックを目指して頑張っています。選手達の頑張りは、正に言葉通りでした。人間の可能性を感じさせてくれたと同時に、共に生きることの大切さを学びました。この言葉を聞き、現在のコロナ禍においては、「コロナのために、あれもできない、これもできないと言っているな。みんなでできることを前向きに考えよう。」とされているような思いをします。

「緊急事態宣言」の解除を踏まえた教育活動等について

京都府全域への緊急事態措置が9月30日で解除されたことを踏まえ、10月1日（金）以降の教育活動等について、引き続き、基本的な感染防止対策に取り組みながら、感染拡大防止と教育活動の両立をおこなっていく必要があることから、下記の京都市教育委員会からの通知に基づき実施していきます。なお、「第6波」等により感染状況が悪化する場合は、制限や変更を実施しますので、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

1. 具体的な教育活動について

- (1) 「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」については、感染症対策（生徒の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、可能なものは避ける、一定の距離を保つ、同じ方向を向く、回数や時間を限定する等の対応）を十分に講じた上で実施可能とする。
- (2) 校外活動および修学旅行については、感染症対策を十分に講じた上で実施可能とする。
- (3) 体育的行事・文化祭等については、学年別に時間差での開催や種目等の精選、一度に多人数が密集しないよう工夫するなど、できる限りの感染症対策を講じた上で実施可能とする。
- (4) 市内外から講師等を招いて実施する活動や地域・関係団体と連携した校内での活動等について、感染症対策を十分に講じた上で、実施可能とする。
- (5) 感染拡大リスクをできる限り低減させるため、実施形態の工夫や必要性を十分に検討した上で、実施の適否を判断すること。

2. 部活動について

引き続き、感染予防対策を徹底しながら、次のとおり、段階的に規制を緩和し、活動を再開します。

- (1) 10月1日（金）～10月15日（金）…校内限定で2時間以内（大会参加は可）
- (2) 10/16（土）～10/29（金）…京都府限定で対外活動可・部活動ガイドラインの活動時間
- (3) 10/30（土）～…部活動ガイドラインに基づく通常活動（府県をまたぐ移動可）

【8・9月のおもなできごと】

【左京支部生徒会交流会…8月3日】

左京支部8校生徒会による交流会が8月3日（火）オンラインでおこなわれました。ホスト校である岡崎中学校の司会・進行により各校の取組紹介をしました。その後、各学校の困りや悩みについて意見交流を行った大変有意義な生徒会交流会でした。



【2学期始業式（伝達表彰・生徒集会）…8月25日】

多目的室からオンラインでの始業式を行いました。始業式前には、部活動の団体・個人の伝達表彰を行い、続いて、始業式での学校長の話を聞き、その後、生徒会本部による生徒集会がおこなわれました。



【吹奏楽部「京都府マーチングコンテスト」金賞・「関西マーチングコンテスト」金賞】

9月12日に「第34回京都府マーチングコンテスト」、9月23日に第49回関西マーチングコンテストにおいて、吹奏楽部が見事「金賞」を受賞しました。練習に制約のある中、お疲れ様でした。金賞おめでとうございます。



【10月のおもな学校行事】

- ・10月 8日（金）…学習確認プログラム（全学年）
- ・10月11日（月）…学校預り金振替日
- ・10月14日（木）…公立高校保護者説明会（6限）
- ・10月20日（水）…体育学年競技会（各学年2限ずつ）
- ・10月22日（金）…学校祭文化の部（京都コンサートホール）
- ・10月24日（日）～26日（火）…3年生修学旅行【長野県白馬方面】
〔27日（水）…3限登校・28日（木）…代休日〕
- ・10月29日（金）～11月9日（火）…教育進路相談週間（3年生…11月1日（月）～）



※体育学年競技会は、種目等の精選や多人数が密集しないような計画を、また、学校祭文化の部は、文化系部活動と9組の発表を現在、検討中です。いずれも感染拡大防止の観点から無観客とさせていただきます。詳細が決定次第、お知らせさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。